

Ⅲ 並行在来線は存続・維持が必要

新潟県の並行在来線が果たす大切な役割を踏まえ、将来にわたり安定して持続的に運行サービスを提供していく経営会社が必要です。

並行在来線は、重要な鉄道財産

並行在来線は沿線地域だけでなく県全体や国にとっても、なくてはならない重要な鉄道財産であることから**存続・維持が必要です**。

存続・維持には、県民の皆様の理解と主体的な参画が必要

並行在来線を取り巻く経営環境は、少子高齢化の進行やモータリゼーションの進展などによる利用者の減少で、今後厳しさを増すと予想されます。

このように厳しい環境の中、並行在来線が地域の重要な交通手段として将来にわたり安定して持続的に経営していくためには、**地域住民はじめ県民の皆様からのご理解をいただくとともに、一人一人が自分の鉄道として主体的に参画していくことが何よりも必要**となります。

県民の皆様から並行在来線に対するご理解とご協力をいただきながら経営主体の事業計画を策定していくため、これまで県・沿線市、民間有識者の方々と検討してきた内容について、**現時点における並行在来線経営の基本的な考え方と方向性**としてとりまとめました。

この地域で並行在来線を
存続、維持させていく、
鉄道会社が必要なんだね。

